

GRANHØJEN:

自動化および高度なアナリティクスにより、介護施設Granhøjenにおける顧客の需要の変化を明らかにすることができました



Granhøjen

SPECIALPSYKIATRISK BEHANDLING

「VitecoのBIソリューションであるSPEEDの価格対効果は抜群でした。Yellowfinのライセンス費用だけでも、完全なソリューションの購入をカバーできましたし、データ収集の自動化により、四半期で約25 - 30時間の節約になっています。」

GRANHØJEN

最高執行責任者 (COO)

Mads Olsen



背景

Granhøjenは、デンマークに拠点を置くりハビリテーションセンターです。30年以上にわたり、精神疾患や社会的な問題を抱える人たちに住居や雇用、治療を提供しています。この施設では、入居者が働き、活動して、新しいスキルを身につける機会がもてるようなコミュニティが構築されています。このプロセスを通じて、入居者は彼らの社会的な問題や病気とは結びつかないアイデンティティを作り上げることができます。施設には、療法士、心理学者、多分野にまたがる専門性を備えた人々を含めて約120名のスタッフがおり、一人一人に最適な治療法を決定しています。

課題

ホルベックの民間住宅では、入居者の数やニーズの変化に応じて、スタッフ、サービス、建物を継続的に変化させることが重要でした。時を経るにつれて、Granhøjenのスタッフは40名から120名へと拡大し、その結果、会社の重要な数字を完全に把握することが管理上の大きな課題となりました。「これまで役員会に提出していた数字は1ヶ月前のもので、提示する頃には既に古い情報になっていました」と、Granhøjen 最高執行責任者 (COO) Mads Olsenは言います。「わたしは、情報に迅速かつ簡単にアクセスできず、最新のデータに基づいて管理上の意思決定を行えないことに不満を感じていました。以前は、各取締役会レポートのデータをExcelで収集するのに、四半期で25 - 30時間ほどかかっていました。」

また、Granhøjenには、入居者と彼らが必要とするサービスに対するインサイトが欠けていました。入居者が退所した理由を把握するプロセスさえありませんでした。そのため、入居者が回復したから退所したのか、それともGranhøjenが提供するサービスに不満があったからなのか不明確でした。この情報は、入居者を担当する自治体と直接話をしたスタッフにより保持されていましたが、他のスタッフは把握しておらず、これらが管理情報やプロセス改善のために体系的に活用されることはありませんでした。

ソリューション

Mads Olsenは、ビジネスを積極的に改善するデータプロジェクトの導入には数年かかり、費用も数千ドルかかると予想していました。しかし、VitecoのソリューションであるSPEEDを見るや否や、迅速に、そして費用対効率高く結果を出すことができると確信しました。



SPEEDは、高速BIプロジェクトを提供するVitecoのアプローチです。これは、業界をリードする革新的なインメモリアナリティクスデータベーステクノロジーであるExasolと、強力なBIおよびアナリティクス製品のスイートであるYellowfin、そしてVitecoのデータスイートツールおよびSPEED手法を組み合わせた価格固定パッケージです。このツールとアクセラレーターの組み合わせを使用することで、Vitecoは実用最低限の製品 (MVP: Minimum Viable Product) を4 - 6週間で提供することができます。

Granhøjenのチームは、実際にPOCを見ると非常に喜びました。Vitecoは、ビジネスアプリケーションからデータを抽出し、Exasolにデータをロードして、Yellowfinでレポートを作成する前に、レポート要件を定義するためのワークショップを実施しました。VitecoはYellowfinを使用することで、より早い段階でレポートを作成し、ETLプログラミングはその後に実行できるとに気が付きました。Granhøjenの経営陣が最初のレポートを抽出するまでにかかった期間は、ちょうど1ヶ月半でした。

「Vitecoのコンサルタントは、わたしたちのビジネスやアクセスする必要のあるデータをすぐに理解してくれました」と、Mads Olsenは言います。「VitecoのBIソリューションであるSPEEDの試用版の価格対効果は抜群でした。わたしたちは、プログラムの継続を即座に希望しました。Yellowfinのライセンス費用だけでも、完全なソリューションの購入をカバーできましたし、データ収集の自動化により、四半期で約25 - 30時間の節約になっています。」

ベネフィット

Granhøjenのスタッフは、日々のレポートを数秒で受け取れるようになり、以下のような、大きな成果を上げています。

- Granhøjenには、これまで以上に多くの常設住居が必要であるという自治体内の明確な傾向が明らかになりました。この需要を把握した経営陣は、利用可能な居住施設の数を増やすための対応を実施しました。
- 経営陣は、会社の契約に関する最新で詳細なインサイトを提供するレポートを受け取るようになったことで、即座に行動に移せるようになりました。
- Granhøjenの2017年中の入居者数は、手動システムが示すものよりも多かったことが明らかになりました。SPEEDは現在、経営陣が正しい数字を把握していることを保証しています。
- Granhøjenの契約責任者は、退所予定日の3ヶ月前に退所予定者の一覧を受け取ります。これにより、契約担当者は自治体に連絡をして、契約延長の可否を確認することができます。これにより、Granhøjenは、承認された契約による入居者の滞在を可視化することができます。
- カスタマーサービス部門は、新規問い合わせ、登録、退所に関する新しいレポートにより、入居者の流れやフォローアップレートを改善することができました。

「わたしたちには情報はあっても、それをシステムから抽出し、積極的に活用することができていませんでした。これは、データドリブンなビジネスへの大きな一歩です。」

Mads Olsen

VitecoのSPEEDは現在、Granhøjenの契約および計画システムに接続され、事業拡大における需要を満たすサポートをしています。成果は非常に良好で、Granhøjenは間もなく人事や給与システムもVitecoのSPEEDに接続する予定です。

「Exasol、Yellowfin、Vitecoのコンビネーションにより、わたしたちが想像していたよりもはるかに早くソリューションを開発することができました。何かを始めてから、こんなに早く結果を得ることができるなんて、本当に驚きです」と、Mads Olsenは述べています。



より詳細な情報は、Yellowfinのウェブサイトをご参照ください。
yellowfin.co.jp

